

公益社団法人 日本船舶海洋工学会 平成27年度（第120期）事業計画 （平成27年4月1日～平成28年3月31日）

I 基本方針

本会は、船舶及び海洋工学に関する学術技芸を考究し、船舶の性能及び安全性向上、並びに、海洋の開発利用及び環境保全を図ることにより、我が国の発展に寄与すると共に、我が国の国民生活の向上を図ることを目的とする。この目的を達成するため、公益目的事業として、調査研究事業ならびに啓発広報事業を行う。

今年度は例年の事業に加えて、昨年度に引き続き、「国際化」「学術システムの再構築」「海洋産業への展開」「人材育成システム強化」に向けた事業を行う。

II 調査研究事業

【1】講演会

学術講演会を春秋2回開催し、オーガナイズドセッション、ポスターセッションの実施、講演論文集(CD)の刊行等により学術技芸の発展と会員相互の情報交換に寄与する。また一部セッションの英語化、海外からの講演論文の奨励などを通じて講演会の国際化を進める。

1. 平成27年春季講演会

期日：平成27年5月25日、26日

場所：神戸国際会議場（神戸市）

2. 平成27年秋季講演会

期日：平成27年11月16日、17日

場所：東京大学生産技術研究所（東京都）

【2】論文集刊行

会員による投稿論文から、論文審査委員会による審査を経て有益な論文を集め、下記の論文集を刊行する。

1. 日本船舶海洋工学会論文集 第21号 平成27年6月刊行
2. 日本船舶海洋工学会論文集 第22号 平成27年12月刊行

【3】英文論文集 (Journal of Marine Science and Technology) 刊行

世界各国からの投稿論文から編集委員会による審査を経て有益な論文を集め、下記の論文集を刊行する。活発な投稿状況を受けて掲載論文数は約50編を予定する。また日本学術振興会の科学研究費補助金を受けて、国際情報発信の強化を行う。

1. Journal of Marine Science and Technology Vol.20 No.2 平成27年6月刊行
2. Journal of Marine Science and Technology Vol.20 No.3 平成27年9月刊行
3. Journal of Marine Science and Technology Vol.20 No.4 平成27年12月刊行
4. Journal of Marine Science and Technology Vol.21 No.1 平成28年3月刊行

【4】研究委員会活動

1. 研究企画委員会の開催

研究企画委員会を年3回開催し、調査研究活動の活性化、研

究戦略の検討、学会誌での技術解説やシンポジウム等対外的な研究活動を推進する。

2. 分野研究企画部会の開催

- ・性能・運動分野
- ・構造強度・材料溶接分野
- ・工作分野
- ・設計・艤装分野
- ・海洋工学・海洋環境分野
- ・情報技術分野

3. 研究委員会の開催

本年度は以下のプロジェクト研究委員会、ストラテジー研究委員会を実施する。

(1) プロジェクト研究委員会

- P40 船舶 3D 製品情報の共有と高度利用のための標準フォーマットの策定研究委員会
- P41 JSQS（艤装関係）2015年版改訂研究委員会
- P42 PSPC 適用船の施工のための裏焼防止の検討研究委員会
- P43 BCM を用いた船体流場の大規模 CFD 解析能に関する研究委員会
- P44 海洋エネルギー施設の環境影響評価に関する研究委員会
- P45 バラスト管装置設計基準の全面改訂研究委員会
- P46 船内交通装置設計指針の改訂研究委員会

(2) ストラテジー研究委員会

- S12 IMO 最低出力がドライ策定方針研究委員会

4. 研究会の開催

下記の常設研究会を随時開催し研究活動を行う。

- ・推進・運動性能研究会
- ・造船設計・生産技術研究会
造船設計部会、船体艤装工作部会、
電気艤装部会、機関艤装部会
- ・材料・溶接研究会
- ・建造革新研究会
- ・海洋工学研究会
- ・海洋環境研究会
- ・情報技術研究会

【5】シンポジウム等の開催

- ・船舶海洋工学分野に係る有識者会議として、第5回世界船舶海洋工学フォーラムを開催する。
期日：平成27年12月7日
場所：ホテルグランヴィア広島（広島市）

【6】国際事業

- ・国際的な海事連携と調査研究のため、平成28年開催の第7回 PAAMES/AMEC (Pan-Asian Association of Maritime Eng. Societies /Advanced Maritime Eng. Conference) に向けた以下の会合に参加する。
PAAMES/AMEC ISC meeting
平成27年10月頃、於：香港
- ・相互交流を深めるため、韓国造船学会(SNAK)の秋季講演会

における日韓ジョイントセッションに参加・協力し、研究者交流等の共同活動についても検討を行う。

- 平成27年11月3日～7日に米国で開催されるWMTC2015 (World Maritime Technology Conference) に参加・協力し、世界の造船関連学会との交流を行う。
- 平成27年11月29日～12月2日に京都で開催されるWECC2015 (World Engineering Conference and Convention 2015) に参加・協力し、世界の工学関連学会との交流を行う。
- IMOにおけるNaval Architecture Groupの意見表明において、その一員として、英国造船協会RINAと協議しGroupの意思疎通を図る。
- 調査研究に関わる国際的な活動を行うために下記の委員会を開催する。
JTTC委員会 船舶性能に関わる調査研究
JSSC委員会 船体構造と安全性に関わる調査研究

【7】支部活動

1. 東部支部

- (1) 東部支部構造研究会
船体構造に関する研究発表、動向調査等の研究会を年3回開催する。若手設計者への船体構造基礎知識の普及活動を行う。
- (2) ワークショップの開催
船舶海洋技術者にとって話題性あるテーマについて、招待講演を含むワークショップを年2回開催する

2. 関西支部

- (1) 特別講演会
広く海事関係の講師による特別講演会を開催する。
期日：平成28年1月
場所：神戸または大阪
- (2) シンポジウム
船舶海洋工学に関連するシンポジウムを年2回開催する。
- (3) 関西船舶海洋流体力学研究会 (KFR)
船舶流体力学に関する研究会を年4回実施し、シンポジウムを共催する。
- (4) 関西船体構造研究会 (KSSG)
船舶および海洋構造物に関する研究会を年4回実施し、シンポジウムを共催する。

3. 西部支部

- (1) 西部支部構造研究会
船体および海洋構造物の構造に関わる研究会を、年3回開催し、講習会を1回開催する。
- (2) 西部支部性能研究会
船舶の性能に関する海外からの招待講演を中心としたワークショップを1回開催する。
- (3) ワークショップの開催
洋上風力発電に関するワークショップを1回開催する。

III 啓発・広報事業

【1】能力開発センター

船舶海洋技術者の能力開発に係る下記の活動を行う。

- 1. 運営委員会の開催
能力開発センター運営委員会において、能力開発に関わる企画、調整を行う。
- 2. CPDの推進
継続教育 (CPD) ポイント構築システムの改善を検討すると

共に、他学会との協調を考慮しながらCPDポイント制度の普及に努める。

3. 技術者資格支援

技術士補 (技術士第1次試験) 資格取得を支援するため、船舶海洋技術者を対象とした講習会を開催する。

4. 大学教育支援

船舶海洋系大学の教育プログラムのJABEE認定を支援する。

【2】船舶海洋工学シリーズの英訳出版

海外の造船技術者育成に資するため、「船舶海洋工学シリーズ」全12巻を3ヵ年計画で英訳・出版する。

【3】造船技術者社会人教育

若手造船技術者の実務に役立つ実践的な教育のため、日本造船工業会、日本中小型造船工業会と共催し、造船技術者社会人教育 (第15回) を実施する。

【4】海洋教育推進活動

1. 海洋教育推進委員会

- (1) 委員会の開催
運営委員会、幹事会および支部委員会を開催する。
- (2) 海洋教育セミナーの開催
主に海洋教育担当者を対象として、海洋教育の事例発表等を主体とした海洋教育セミナーを、各支部で開催する。
- (3) 海洋教育に関する広報活動
海洋教育に関連する情報、論文、報告等を学会誌に掲載する。また、海洋教育コンテンツをホームページに掲載する。さらに一般からの海洋に対する問い合わせ等について対応する。
- (4) 海洋教育に関する企画
実習船を用いた海洋教育の調査/情報発信の改善/教材作成/科学館・博物館との連携/施設・工場見学/地域支援コーディネート/海辺環境教育、等の企画を立案し実施する。

2. 海洋教育フォーラム

小中学校・高等学校の教員を含む一般市民を対象として、船舶・海洋への関心の拡大、周知・啓発を目的として、全国6か所で海洋教育フォーラムを開催する。

3. 青少年啓蒙活動

青少年を対象として下記の出前講義、体験型講義等の提供を行なう。

- ・夏休みおもしろ船教室 (2回)
- ・水中ロボコン (ロボットコンテスト)
- ・青少年セミナー

4. 一般向講演会

海洋分野に関する国民の知識や理解の向上を図るために、高校生や一般を対象とした講演会を全国各地で開催する。開催する機関は、船舶海洋系8大学を予定している。(日本造船工業会補助事業)

5. 夏の学校

学生、若手研究者、社会人を対象として、合宿形式の「夏の学校」を、運動・性能分野と構造・材料分野で2回実施する。

【5】会誌発行

学会誌編集委員会において特色ある編集内容を検討し、下記のとおり学会誌「KANRIN」を発行し、全会員に配布する。

号	本文頁数	発行年月
第60号	85	平成27年5月
第61号	150	7月
第62号	85	9月
第63号	85	11月

第 64 号	85	平成 28 年 1 月
第 65 号	85	3 月

【6】電子情報サービス

- ・タイムリーな学会情報の発信と情報の管理を国内外に向けて行う。
- ・邦文ホームページとともに英文ページの内容の充実を図る。
- ・会員サイトのコンテンツの充実を図る。

【7】学会褒賞

下記の褒賞および推薦を行う。

- 学会賞（論文賞）
- 学会賞（発明・考案等）
- 奨励賞（乾賞）
- 船舶海洋技術賞
- 奨学褒章
- 名誉会員・功労会員の推薦

【8】シップ・オブ・ザ・イヤー授賞

シップ・オブ・ザ・イヤー2014 応募作品の広報、選考会および表彰式を開催する。またシップ・オブ・ザ・イヤー25周年を記念し、冊子を製作する。

【9】広報活動

学会活動を広く周知するためパンフレットを製作し広報宣伝活動を行う。また他分野からの入会者の増加を図る。

【10】海洋開発人材育成構想委員会

海洋開発に係わる人材育成を担い、海洋エンジニアリング教育の拠点となる機構・センター等の仕組みを、全国に設置することを目的として、検討・提言を行う。

【11】支部活動

1. 東部支部
 - (1) 若手研修・意見交換会
若手会員の異業種間ネットワーク形成と活性化のため研修・意見交換会等を企画、開催する。
 - (2) 海事産業へのお誘い
大学生を対象として海事産業関連企業の説明会を開催する。
2. 関西支部
 - (1) 若手技術者研修会
若手技術者を対象として、技術力の向上と技術交流を目的とした研修会を年5～6回開催する。
 - (2) 造船資料保存委員会
資料の収集、整理、調査等保存活動を行う。
 - (3) 関西シニア海事研究会（Kシニア）
海事関連の調査研究・啓蒙活動を行う。
 - (4) 支部長賞表彰
論説・記事・著書／若手研究者および学生の海外での論文発表／海事に関連する調査研究／職場の環境改善・安全対策／新技術開発／海事に関わる継続的社会貢献／その他授賞審査委員会が選定した対象に対して支部長賞を授与する。
 - (5) セミナー・講習会
 - 1) 見学会
船舶海洋に関連の深い場所や施設を訪問し、解説および見学を行う。
 - 2) 海事産業説明会
大学生を対象に日本の海事産業説明会を行う。KFRjr. とKSSGjr. の学生幹事が運営を主体的に行う。

期日：平成 27 年 12 月 12 日

場所：大阪産業創造館

(6) 海岸清掃（ボランティア活動）

国際ビーチクリーンアップ活動に参加して、神戸市須磨海岸の清掃を実施するとともに、海岸ゴミの調査活動に協力する。

期日：平成 27 年秋季

(7) 学生・若手会員募集

学生会員募集のための学会紹介パンフレットを製作し、学生会員の拡大を図る。また、若手技術者向けの研修会や講演会を積極的に企画し、若手会員の拡大を図る。

3. 西部支部

(1) 褒賞事業

船舶海洋科学技術に関連する啓発広報活動に貢献した会員およびこれに推薦されたものを対象に奨励賞を授与する。

IV 事務

【1】会員管理

会員の入退会、会費請求、資格変更等、会員情報の維持・管理を行う。また会員名簿を発行する。

【2】規則の改定等

理事会において必要な内規の改定を行う。また総会において必要な細則の改定を行う。

【3】委員会委員の委嘱

理事会の議を経て各種委員会委員の委嘱を行う。創立 120 周年記念事業実行委員会を組織する。

【4】会合

1. 定時総会
 - 期日：平成 27 年 5 月 25 日
 - 場所：神戸国際会議場（神戸市）
 - 議案：平成 26 年度事業報告・収支決算報告
平成 27 年度事業計画・収支予算
役員を選任
2. 理事会
 - 定例理事会を 6 回開催する。
3. 支部総会等
 - (1) 東部支部
 - 東部支部総会
期日：平成 27 年 5 月 19 日
場所：日本海事協会東京支部
運営委員会を年 6 回開催する。
 - (2) 関西支部
 - 関西支部総会
期日：平成 27 年 5 月 18 日
場所：三菱重工業神戸造船所（神戸市）
商議委員会を年 1 回開催する。
運営委員会を年 7 回開催する。
会務委員会・研究運営委員会・情報システム委員会・授賞審査委員会を必要に応じて開催する。
 - (3) 西部支部
 - 西部支部総会
期日：平成 27 年 5 月 13 日
場所：リファレンス駅東ビル（福岡市）
運営委員会を年 5 回開催するほか、メール審議を行う。